

滝呂児童センター 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和元年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H30 年度	R1 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビーズクラブ	月2回程度	10回以上	13	15	16	114	0	0	124	238	15	141	0	0	128	269	親子間の絆を深める事を目的としたふれあい遊びや工作遊びを中心に展開。参加者にとって居心地良い場にするため活動中は保護者にトークテーマを与え、同世代の子を持つ保護者同士が交流するよう工夫し、育児に関する情報交換の場としても機能した。新型コロナウイルス感染防止の為3月1回中止。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・びよびよクラブ	月2回程度	10回以上			15	228	0	0	232	460	15	179	0	0	160	339	運動機能の発育に合わせ家庭で体験し難い遊びを提供。前期はマット及びソフトブロック等を用いた運動遊びを行い、後期は当センターの大型遊具のトラボルン、室内用鉄棒、巧技台等を用いた運動遊びを実施し高評価を得た。新型コロナウイルス感染防止の為3月1回中止。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・キンダークラブ(運動系) ・ちびっこクラブ(工作系)	月2回程度	10回以上			30	369	0	0	366	735	28	460	0	0	355	815	多様化するニーズに対応し、運動系と工作系の2クラブに分け、保護者が子の性格に合わせて選択出来る形式とした。両方に参加する親子が多くあり、クラブ活動を通じて交流を深める場面が多くみられ、集団活動を体験する場及び情報交換の場として機能した。新型コロナウイルス感染防止の為3月各1回中止。
	小 計					61	711	0	0	722	1433	58	780	0	0	643	1423		
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・滝っ子お話し会(毎月) ・親子であそぼう(毎月) ・パパとあそぼう(毎月) 等	適宜	—	14	15	42	157	42	0	152	351	49	217	20	1	183	421	「どのような活動であれば参加意欲が高まるか」を調査し、「乳幼児クラブの活動をクラブ外でも行いたい」との回答あったため、既存事業「親子であそぼう」内で大型遊具を用いた遊びや新聞紙遊び等の家庭で行い難い遊びを実施。年度当初の時点では実施回数も増加させたが、新型コロナウイルス感染防止の為+U13月に企画していた親子であそぼうを3回、パパとあそぼう1回、滝っ子お話し会1回を中止。
		小 計					42	157	42	0	152	351	49	217	20	1	183	421	

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和元年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H30 年度	R1 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	①一輪車クラブ	月2回程度	6回以上	15	14	13	25	256	9	13	303	13	35	326	0	24	385	多岐に渡るニーズに対応する為一輪車の技術向上を目指す一輪車クラブ、奉仕活動を中心に行うボラキッズクラブ、運動遊び及び集団レクリエーションを行うチャレンジクラブ、手芸工作中心のクラフトクラブ4クラブを設置。どのクラブも職員の見守りのもと、安心・安全に活動できるよう努めた。特に一輪車クラブへの参加意欲が高く、実施回数の増加要望があり、増加した。それに伴いクラフトクラブ、チャレンジクラブの実施回数を減少させた。ボラキッズクラブは予定していたデイサービス利用者への奉仕活動が2回中止となり回数、参加人数とも減少。さらには全てのクラブにおいて新型コロナウイルス感染防止の為3月の活動を1回中止しており、総合的な実施回数及び参加人数は減少。
		ボラキッズクラブ (子どもスタッフクラブ)	月1回程度	6回以上			12	0	178	0	0	178	7	0	92	23	0	115	
		チャレンジクラブ	月1回程度	6回以上			9	0	172	0	0	172	5	0	69	1	0	70	
		クラフトクラブ	月1回程度	6回以上			8	0	135	3	1	139	5	0	81	0	0	81	
		② ボランティア活動 ・施設内壁面制作 ・幼児見守り体験 ・施設内外清掃活動 ・高齢者への奉仕活動 ・事業の事前準備補助	月1回程度	随時			17	2	103	0	1	106	13	1	33	0	1	35	
	小 計					59	27	844	12	15	898	43	36	601	24	25	686		
2	③ 児童 自主事業 ・子どもスタッフ交流会(7館合同) ・滝っ子お話会(毎月) ・トランポリン(毎月) ・チャレンジ番付(毎月) ・福祉体験(年1回) ・季節行事(通年) ・星を観る会 等	適宜	—	14	14	78	47	710	4	88	849	70	81	429	32	102	644	「チャレンジ番付」は児童の運動機会の増加を目的に、毎月異なる種目に挑戦し、年2回、他館・センター児童と記録を競い合う形式とし意欲を高めた。運動以外では環境学習の一環として「ガサガサ探検、天体観測」といった事業も展開。新型コロナウイルス感染防止の為3月に企画していた滝っ子お話会1回、チャレンジ番付2回、トランポリン2回、ドッチボール1回を中止したため実施回数及び参加人数が減少。	
小 計					78	47	710	4	88	849	70	81	429	32	102	644			

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和元年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H30 年度	R1 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・サンホーム滝呂 ふれあい夏まつり	年1回	1回以上			1	35	72	9	149	265	1	38	76	16	135	265	誰もが参加できる行事を目的に児童が中心となりサンホーム滝呂ふれあい夏まつりを企画し実施。児童考案の多世代が参加できる釣釣り、ボーリング等遊びブースや保護者を対象としたマッサージ、高齢者を対象とした写真展等、複合館ならではの事業を実施出来た。台風6号の接近の為予定より早く終了。参加者からは高評価だった。
		② 移動児童館 ・陶彩の径さくらまつり(年1回) ・笠原福祉まつり(年1回) ・健康ひろばIN滝呂(年1回)	年3回	地域事情に応じて	13	13	4	113	159	20	220	512	3	74	125	9	172	380	地域行事に積極的に参加。29区主催の陶彩の径さくらまつりでは幅広い世代が楽しめるお菓子すくいブースを展開。前年度未参加の「健康ひろばIN滝呂」への参加等、移動児童センターの場の拡充にも努めた。地域内悠光クラブとの「移動児童老人センター」を新型コロナウイルス感染防止の為2回中止した事も要因となり、実施回数及び参加人数が減少。
	小 計						5	148	231	29	369	777	4	112	201	25	307	645	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・サンホーム滝呂ふれあいまつり秋 ・多世代交流会(月1~2回) 老人センター・デイサービス合同 「卓球交流会・縁日・マジックショー ・納涼お楽しみ会・新春お茶会等」 ・うながっぱがやってくる (うちわ配布事業) 等	適宜	—	15	13	26	181	425	86	1594	2286	15	132	305	50	946	1433	複合館の特性を活かし幅広い世代を対象とした事業を多く展開。「多世代交流会」として卓球交流会やマジックショー観覧等を実施。事業を通じ地域内の幼児親子・小中高生と高齢者の親交が深まるケースも多く目的に沿った内容となった。新型コロナウイルス感染防止の為3月の卓球交流会2回、ふれあい春まつりといった大規模な事業を中止となり、実施回数及び参加人数が減少。
小 計						26	181	425	86	1594	2286	15	132	305	50	946	1433		
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・児童センター事業実施時の補助 「親子であそぼう」 「チャレンジ番付」 「多世代交流会」 等	適宜	3回以上	14	15	5	0	0	50	0	50	17	0	11	63	0	74	多治見中学校輝き隊の生徒を主な対象にボランティア活動の場を提供。輝き隊が生徒主体の団体へと変化するに伴い、小規模事業への参加を可能とした結果、実施回数、参加人数が増加。3月は卓球交流会及びふれあい春まつりでの奉仕活動の場の提供を企画したが新型コロナウイルス感染防止の為計3回中止。
	小 計						5	0	0	50	0	50	17	0	11	63	0	74	
	2	② 中高生 自主事業 ・中学生スポチャレ(毎月)	適宜	—	15	14	13	1	57	29	2	89	12	0	19	39	0	58	居場所作りの一環として毎月異なる種目(運動中心)に挑戦する事業を実施。多忙で来館が減少傾向にある中「習い事等が無い曜日」を口頭で調査し結果を受けて日曜日に多く実施。対象者を中高生と限定せず、次の中高生となる児童の参加も継続して可能とした。新型コロナウイルス感染防止の為3月に2回中止した事も要因となり参加人数は減少。
小 計						13	1	57	29	2	89	12	0	19	39	0	58		

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H30	平成30年度の参加人数					実施回数 R1	令和元年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H30 年度	R1 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育て ネット ワーク づくり の 推 進	1	① 相談事業 ・子育て相談日(毎月)	月1回	月1回以上	14	14	12	15	2	0	11	28	11	5	1	0	4	10	子育てに不安を抱える保護者の不安軽減を目的に毎月1回相談日を設置。一般来館時や乳幼児クラブ実施日の相談日以外の場で相談を受けている。元年度は57件の相談を受けた。うち関係機関に繋げた事案は0。新型コロナウイルス感染防止の為3月1回中止。
		② 講習・講演・他連携 ・親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業「第13回多治見わんぱくまつり」 ・赤い羽根共同募金配分金事業「どすこい！児童館すもう体験」 ・歳末助け合い募金配分金事業「ルンルンパルンショー」	年3回	2回以上			3	26	42	5	47	120	3	36	40	0	55	131	社協が運営する他館・センター及び他団体・機関と連携し、日常では体験し難い「力士とのふれあい体験、パルンショー観覧」事業を展開。どの事業も、多くの参加者から高評価を得ている。事業を実施することで、児童センターのPR及び関連機関との連携強化へと繋がっている。
		③ 母親クラブ ・総会 ・奉仕活動「おもちゃ点検」 ・講習会「料理、バランスボール等」 ・お楽しみ会「共催クリスマス会等」 ・安全活動「救急講座」	適宜	随時			18	138	59	2	204	403	14	97	46	0	158	301	会員数拡大を目的に、当センター事業内でPR活動や新たな共催事業を実施した結果、新規会員加入に繋がり、約50名の会員数となった。母親クラブ支援として活動の場及び遊び等を提供。活動後は、意見交換やアドバイス等を行い連携を深めた。母親クラブの年間実施回数、活動内容を調整し、3月には「バザー、炊き出し訓練」と大規模な活動を2回企画したが、新型コロナウイルス感染防止の為中止し実施回数及び参加人数が減少。
	小 計						33	179	103	7	262	551	28	138	87	0	217	442	
	2	④ 子育て 自主事業 ・YYスマイルサロン ・なないろひろば	月1回程度	—	15	15	20	52	28	24	122	226	19	33	38	23	96	190	障がいを持つ高校生までの子が自由に活動出来るYYスマイルサロンと、集団活動に不安を感じている乳幼児親子を対象に少人数制の活動の場なないろひろばを実施。なないろひろばに関しては保健センター・発達支援センターと連携して実施。どちらも安心・安全に活動し、育児に不安を抱える保護者の不安軽減及び保護者同士の情報交換の場として機能している。
小 計						20	52	28	24	122	226	19	33	38	23	96	190		